

○ 予算決算委員長報告

予算決算委員会委員長 東 谷 伸 治

予算決算委員長報告を申し上げます。

今期定例会で当委員会に付託されました議案は、「議案第62号平成27年度鳴門市一般会計補正予算（第2号）」ほか5議案であります。

当委員会は、5日間にわたり委員会及び分科会を開催し、慎重審査いたしました結果、議案6件については原案のとおり可決すべきと決しました。

以下、審査の概要について御報告申し上げます。

まず、総務課に関する予算については、財産管理費のうち公共施設等総合管理計画策定支援業務について質疑がありました。理事者からは、本市の保有する公共施設、インフラ、道路等を含むすべての施設について、人口減少社会を見据え、長期的な視点による整備、財政負担の軽減、平準化等を進める必要があり、公共施設等総合管理計画として総合的かつ計画的な管理に関する全体の方針と施設類型ごとの基本方針を平成28年度を目処に策定するための支援業務を委託するものである、との説明を受けました。

次に、戦略企画課に関する予算については、新規事業である地域活性化・地域住民生活等緊急支援事業のうち、戦略企画課に関する事業の内容について質疑がありました。理事者からは、ドイツ村公園活性化事業では、ドイツ館前のLEDによるイルミネーションの設置に関する委託料として、大学リレーマラソン開催事業では、鳴門教育大学構内でのリレーによるマラソンイベント開催にかかる負担金等として、演劇を活用した教育環境充実事業では、文化会館で開催される劇団四季のミュージカルの観劇とともに、同劇団による市内の中高校生に対する演劇等の指導の実施に掛かる負担金等として、それぞれ支出を行うものである、との説明を受けました。

次に、財政課に関する予算については、今回の補正予算を受けて本市の基金残高についての質疑がありました。理事者からは、スーパー改革プランで想定している本年度末の基金残高にはまだ達していないが、市税の調定の確定や今後の事業執行等の状況をみていきたい、との説明を受けました。

次に、市民協働推進課に関する予算については、自治振興関係費のうち渦潮ふれあい館の外壁修繕について質疑がありました。理事者からは、中央地区自治振興会の活動拠点として使用している渦潮ふれあい館の外壁を修繕するためとの説明がありました。

次に、市民課に関する予算については、個人番号カード交付事務費に関して、搬送旅費や、カードの裏書印字システムの購入費等の内容について確認を行いました。委員からは、マイナンバー制度の導入は、国が実施すべき事業であり、その財源などについても、国に負担するよう強く要望していくべきではとの意見がありました。理事者からは、市負担分については、交付税で補填されると思われるが、額が確定

出来ていない状況であるとの説明を受けました。

次に、環境政策課に関する予算については、墓地関係費のうち墓地樹木伐採代について、質疑がありました。理事者からは台風の影響で折れた樹木が、墓石を破損する恐れがあり、その樹木を伐採するためなどの手数料との説明を受けました。

次に、健康政策課に関する予算については、母子保健型包括支援センター事業のうち、産後デイサービス事業、産前・産後ヘルパー派遣事業についてどの程度の利用を見込んでいるのかについて質疑がありました。理事者からは、産後デイサービス事業については、20人程度で月4回から5回の利用を想定しており、産前・産後ヘルパー派遣事業については、40人程度で1日2時間、月5回から6回程度の利用を想定しているとの説明を受けました。委員からは、特に、産前・産後ヘルパー派遣事業については、家族から家事や育児の支援を受けられない方が利用されるにも関わらず、月に5回から6回程度しか利用できない状況では非常に困るのではないか。この制度を利用する方があまり多くなかった場合には、必要な方が、その分利用出来るよう検討してもよいのではとの意見がありました。

また、母子保健型包括支援センター事業を実施するにあたり、たらい回しの状況が生まれないように、市でも委託先でも、どちらに出向いてもワンストップで対応出来るようにする必要があるのではとの意見がありました。

また、妊婦事前登録制度について、希望すれば全員登録出来るのかについて質疑がありました。理事者からは、鳴門市に住民票があり妊婦事前登録を希望する妊婦であれば申請していただければ全員登録されるとの説明を受けました。

また、マイナンバー制度を導入することの利点について質疑がありました。理事者からは、健康政策課・健康づくり室に関連していえば、例えば、転居した場合であっても、継続的に健診情報・予防接種履歴が確認できるようになるとの説明を受けました。

次に、保険課に関する予算については、財政調整基金への積立金について質疑がありました。理事者からは、流行性の疾患等、予測が難しい事態に備えて、総医療費の5%を目途として積立を行うとの説明を受けました。

また、保健対策費のうち、保健指導中間評価健診費及び若年者健診費について質疑がありました。理事者からは、保健指導中間評価健診費については、慢性腎臓病等の重症化予防を目的とし、生活改善の状況を確認するために健診を受ける費用であり、若年者健診費については、30歳代から、特定健診を受ける習慣を身につけるための健診費用との説明を受けました。

次に、長寿介護課に関する予算については、介護給付費準備基金積立金の今年度当初予算額が昨年度当初予算額より多い理由と補正予算で減額した理由について質疑がありました。理事者からは、今年度は、第6期計画期間の初年度であり、当初予算では、基金積立を昨年度より多くしたが、昨年度の精算の結果、所要の補正を行う必要が生じたとの説明を受けました。

次に、社会福祉課に関する予算については、生活保護システムの改修業務に関して質疑がありました。理事者からは、住宅扶助については、各地域の家賃実態を踏まえた適切な水準となるよう、また、冬季加算についても、各地域の光熱水道費の支出の実態を踏まえた中で見直しが行われたとの説明を受けました。

次に、子どもいきいき課に関する予算については、第3子以降保育無料化事業についてどのようにして申請を行うのかについて質疑がありました。理事者からは、現在、入所されている保護者の方に説明を行い、申請書については、現在、該当者もしくは、申し出があった方に渡すのかを検討しているとの説明を受けました。

また、母子生活支援施設入所扶助費について確認がありました。

また、いきいき保育環境なると補助金の事業内容について質疑がありました。委員からは、例えば、徳島の魅力を活用した保育環境充実事業では、各保育所のウェブサイト上で第九の交流を紹介するのであればある程度の統一的な基準が必要ではないか、また、地域の元気高齢者を活用した子育て支援の実践事業では、保育士の指導や、子育てに不安を持つ保護者に対する相談を行うために配置される高齢者は一保育所のみであるが、今後、他の保育所からも、要望が出て来た場合に、不公平感が出ないようにしないといけないと思うので適切に対応して欲しいなどの要望がありました。

次に、土木課に関する予算については、歳入の道路（共栄橋）維持管理費負担金についての質疑がありました。理事者からは、共栄橋は北島町と鳴門市の境にあるため、補修費は鳴門市と北島町で2分の1ずつ負担しており、補修費用の確定による北島町からの入金であるとの説明がありました。

委員からは、歳出の道路維持補修費の道路補修について、市内には舗装が老朽化している道路が多くあるが、限られた予算の中で補修を行わなければならないので、計画的に行うとともに、補修し直したところを下水道工事や水道工事で掘り返すようなことがないように、下水道課や水道事業課と連携し、効率的に行うようにとの意見がありました。

また、道路維持補修費の工事請負費の金額について、舗装が老朽化している道路が多くあるので、財政が厳しいとは思いますが、もう少し予算化してほしいとの要望がありました。

次に、黒崎磯崎地区水路改修工事の内容についての質疑がありました。理事者からは、黒崎磯崎地区の水路は山際にあり、木の葉や枝が詰まるのを防止するためにスクリーンという網のようなものを設置するとの説明がありました。

次に、排水機場及び樋門管理費の工事請負費では、排水機場修繕の内容についての質疑がありました。理事者からは台風により明神第一排水機場と文化会館排水機場のポンプが故障したことによる修繕であるとの説明がありました。

また、渡船運行管理費では島田渡船のオーバーホールの期間とその間の運航についての質疑がありました。理事者からは、1隻での運航のため1日か2日運休して行う計画であると説明がありました。委員からは、渡船を利用している方にできる限り影響のないようにしてほしいとの要望がありました。

次に、公園緑地課に関する予算について、板東俘虜収容所跡地清掃美化業務についての説明を求めました。この事業は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用したドイツ村公園活性化事業の一つで、第九初演100周年に向け、現在管理委託しているボランティア団体ではできないような樹木の伐採や剪定を優先的に行う新規事業であるとのことでした。

次に、商工政策課に関する予算については、新規事業として観光周遊バス運行検証事業についての説明を求めました。委員からは、エコミックガーデニングの観

光部門におけるネットワークの中での協議から二次交通として周遊バス運行の意見がありました。理事者からは、鳴門うずしお観光協会にコースを企画していただいたとの説明がありました。委員からは、これをきっかけに鳴門市の観光地を回れるように広がることを期待しており、周遊バスがあるということをもPRすることも大切ではないかとの意見がありました。

次に、観光振興課に関する予算については、観光情報センター管理費のスロープカーエアコン修繕の内容についての確認がありました。理事者からは、鳴門市観光情報センターにあるすろっぴーのエアコン2機のうち1機を修繕するものであるとの説明がありました。

また、委員からは、中央公園南東上り口付近障害木伐採業務について、緊急を要する状態にあるのかとの質疑がありました。理事者からは、かなり木が生い茂っており、アパートの駐車場の自動車を傷つける可能性があるため伐採するとの説明がありました。

次に、農林水産課に関する予算については、鳥獣被害対策事業費の報償費が補正計上されている理由についての質疑がありました。理事者からは、今年1月から北浜地区でサルが頻繁に出没しているため、対策を行うものであるとの説明がありました。

また、委員からは、多面的機能支払交付金事業についての質疑がありました。理事者からは、この事業は、農地・水環境保全向上対策推進事業という名称でスタートしたもので、現在は名称が変更しており、今回の増額補正は補助対象組織が市場と吉永の2地区増え、19地区になったことによるものとの説明がありました。

次に、消防本部に関する予算については、本市の少年消防クラブの参加人数について質疑がありました。本年度は、鳴門西地区を中心とする「うずしお少年少女消防クラブ」と昨年結成した大津地域を主体とする「うずしお少年少女消防クラブ大津消防隊」をあわせて188人である、との説明を受けました。

次に、ボートレース事業課に関する予算については、公有財産購入費で土地の購入金額の想定についての質疑がありました。理事者からは、新しく設定するまちづくりエリアの一部を日本モーターボート競走会から購入するものであり、不動産鑑定によると、単価は坪あたり82,000円程度であるとの説明がありました。

次に、教育総務課に関する予算については、小学校費の学校建設費における鳴門東小学校体育館改築事業の補正予算にかかる内容について質疑がありました。理事者からは、鳴門東小学校体育館改築工事に先立ち、ボーリング調査を本年3月に実施したところ、当初見込んでいた摩擦杭による基礎では強度不足であることが判明し、43メートルの杭を30本程度打設する必要が生じたことに伴うものである、との説明を受けました。

次に、生涯学習人権課に関する予算については、文化財保護関係費に関し、「鳴門板野古墳群」の国指定史跡申請にかかる今後の見通しについて質疑がありました。理事者からは、土地の境界確定自体は終了しており、現在、国に提出する同意書を土地の所有者からいただいている段階であり、平成28年1月ぐらいには申請したいと考えている、との説明を受けました。

以上が当委員会の審査概要であります。よろしく御賛同賜りますようお願い申し上げます。